

■開催趣旨

次代を担う子どもたちが、いつ、どこで起こるかわからない災害に向けて、自分自身が暮らす地域では、どんな備えがしてあるか、見て歩き、これからの暮らし方を考える防災まちあるきの実施

■期日

2017年10月1日（日）13:30～16:30（3時間）

■会場

洲本市立中央公民館 1階 大会議室

■参加者

34名（子ども13名、子ども会育成者13名、事務局2名）
青年リーダー6名）

■概要

災害への備えの大切さを伝える防災活動ハンドブック「子ども会でまなぼうさい活動BOOK」をもとに、防災・減災の視点でまちを見て歩き、日ごろからの暮らし方を考えた。

■実施スケジュール

時間	内容
13:30	あいさつ 洲本市子ども会連絡協議会 岩見米夫 会長
13:35	オリエンテーション
13:45	お話し「洲本市災害ヒストリー」
14:05	まちの再発見！防災まちあるき ・アイスブレイキング ・まちを歩いて探検する時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをまとめる時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをわかちあう時間 ・体験から感じたことをわかちあう時間
16:30	あいさつ 洲本市子ども会連絡協議会会長

■プログラム運営チーム

講師（語り部） 洲本市子ども会連絡協議会会長 岩見米夫
スタッフ・記録 子ども会防災リーダー 6名

■会場の様子



語り部



まちあるき



まちあるき



発表

■こどもたちによる防災の心得

- ・災害時、お年寄りやけがをしている人を助ける
- ・リュックに必要なものを入れておく
- ・家族との話し合いの機会を増やす
- ・近所の人と話す機会を増やす
- ・災害が起こったらたくさんの人と一緒に逃げる
- ・友達に今日のことを伝える